

平成27年度 明石市地域自立支援協議会

こども部会 リポート Vol. 6 平成27年6月5日

発行元：明石市地域自立支援協議会 こども部会 事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎1丁目5番13号（明石市立総合福祉センター1階）
電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

【 意見投稿用アドレス 】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

皆様こんにちは。明石市こども育成室幼児教育担当の澤田でございます。

就学前の教育・保育を行う幼稚園・保育所は、子どもたちが家庭から外の世界に出て、肉親以外の人と交わる初めての場です。そこは、子どもたちが様々な感情を抱き、ぶつかりあい、激しい喜怒哀楽を感じる場です。ここで芽生えた憧れや葛藤は、障害があるなしにかかわらず「なりたい自分」への大きな原動力となります。

憧れは、発達を越えて子ども達に豊かな成長をもたらしてくれます。この豊かな成長をすべての子どもたちに保障できるよう頑張りたいと思っています。



澤田 睦美 委員

「 児童通所サービス等事業所連絡会 」 活動報告

～ 平成27年3月17日(火)・4月21日(火)開催 ～



株式会社 ソワサポート 代表 浅原 奈緒子 氏より、「PDCAサイクルによる支援を反映させた個別の支援計画の在り方」を26団体35名が学びました。

◆ 3月17日(火) 連絡会 ..° +*..☆° +..

- ◎ ワンポイントレッスン
「支援計画のながれ」について
株式会社 ソワサポート
代表 浅原 奈緒子 氏
- ◎ 意見交換
 - ・子どもに対する支援の中でのよりよい療育
 - ・よりよい連携と仕組みづくり

▼ ワンポイントレッスンでは、療育事業を利用に伴い事業所は「個別の支援計画」を作成し個々の療育支援を実施する流れになっていますが、初めから子どもの状態の全てを把握し、療育を実施するのは難しいため、指定児童相談支援事業所が作成した「サービス等利用計画・児童支援利用計画」を初期アセスメントとして初期プランを作成し、その後、子ども達の療育をしながらアセスメントを続け2～3か月以内に再度本人に合った計画に修正していくPDCAサイクルを学びました。



24団体33名が出席し、障害児通所支援事業について意見交換しました。

◆ 4月21日(火) 連絡会 ..° +*..☆° +..° +..

- ◎ リーフレットづくりプロジェクト(PT)
 - ・木村直樹PT委員長(デイサービス太陽)・中井みゆきPT副委員長(放課後等デイサービスひまわり)・PTメンバーで公平に情報集約し、事業所の特色が理解できるよう、平成27年秋を目途に冊子作成を目指します。

▼ 障害児通所支援事業についての意見交換では、より適切な機関や事業所へつながりやすくする仕組みづくりが必要であるとともに、限られた税財源の中で事業が実施され、「平等」「公平」の意識を持つ必要があること等の意見があり、今後、こども部会で意見をとりまとめます。

▼ 教育機関との連携の中では、児童通所サービス等について説明をする機会を持ち、お互いを理解する機会をつくってはどうかという意見があり、今後もよりよい連携づくりを目指します。

【 次回の連絡会 】 ☆≧ 6月16日(火) に開催します ☆≧ 第3火曜日 に開催 ☆≧

・ <第1部> ワンポイントレッスン テーマ「重症心身障がい児(者)の皆様への支援」
にこここハウス医療福祉センター 児童発達支援・放課後等デイサービス やまぼうし

児童発達支援管理責任者 榎本 律子 氏より

・ <第2部> 意見交換 「子どもに対する支援の中でのよりよい療育・よりよい連携と仕組みづくり」